

新刊案内

大和紀行 高橋梨一稿 石川銀栄子校註 福  
井現代俳句会発行 昭和三五年二月 A5 二  
六頁 二百円

高橋梨一は丸岡藩の俳諧研究者であり、その  
著「奥の細道普孤抄」は芭蕉研究の古典的著述で

ある。彼の自筆稿本「大和紀行」は金津の人笹岡釣雪氏により大正四年に「大和めぐり」と題して板行されているが、今は入手しがたい珍籍となつていたので、石川銀栄子が今回新たに梨一の自筆稿本によつて校合し、頭註を加えて刊行したものである。

石川氏は先年来「越前俳諧叢書」を自費刊行しておられるが、本書はその第四集「天明前後」編の別冊ということになつている。石川氏の越前俳諧史研究は大正時代に始まつていながら、既に四十年近くこの仕事に専心しておられるのである。

(杉原)